

平成29年度前期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目

学部 教養 通科目	科目	1年	2年
		鍼灸学科	健康科学(スポーツ社会学を含む)、生命倫理学、日本国憲法
専門 基礎 科目	理学療法学科	1年 社会福祉学、東洋思想史	
	看護学科	1年 生物学、情報処理、英語 I (初級)	
	臨床検査学科	1年 英語 I (初級)	
	作業療法学科	1年 健康科学(スポーツ社会学を含む)	
		2年 スポーツ医学	
	鍼灸学科	1年 経絡経穴学 I、スポーツ実習 V ダンス	
2年 鍼灸科学概論、運動学、整形外科学、東洋医学系検査法、スポーツ実習 VIII 生涯スポーツ、衛生学公衆衛生学			
3年 運動生理学、学校保健(小児保健・精神保健)、スポーツ医学、画像診断学、現代医学系鍼灸学 II (内科系)、東洋医学系鍼灸学実習			
4年 関係法規・経営論、応用鍼灸治療学 III (小児・婦人科)、スポーツ傷害学・栄養学、体力トレーニング論			
理学療法学科	1年 リハビリテーション概論		
	2年 臨床運動学、精神医学		
	3年 スポーツ医学、リハビリテーション医学、医療関係法規論		
看護学科	2年 診療援助論 II、老年看護学概論、母性看護学概論、小児看護学概論、精神看護学概論、在宅看護概論、公衆衛生看護学概論、臨床病態学 II		
	3年 外来看護論、看護関係法規、成人看護援助論 III		
臨床検査学科	1年 人体の構造 I、人体の機能 I		
	2年 病理学、免疫検査学 I、医用工学概論、血液検査学 I		
作業療法学科	1年 人体の構造 II (神経系)		
	2年 理学療法概論、身体障害作業療法評価学、内科学 I、脳神経外科学、精神医学		
教職 課程	鍼灸学科	1年 教育原理	
		2年 教育行政学	
		3年 教育方法論	
	看護学科	1年 教育原理	

■実施目的

本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

■質問項目

□授業の運営について

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。

□教員について

- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。

□自らの履修態度について

- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。

□自習について

- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法

上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
 「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向

ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものであることをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。(太字部分が集計対象)。

- ①問1~8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「**どちらかといえばそう思う**」
 ②問9 「1時間以下」「**2~3時間**」「**4時間以上**」

※今回、理学療法学科・看護学科4年は対象授業がありませんでした。

	鍼灸学科				理学療法学科				看護学科				臨床検査学科		作業療法学科	
	4年生	3年生	2年生	1年生	4年生	3年生	2年生	1年生	4年生	3年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生
授業運営についての評価																
問1	70 → 79 ↑	68 → 70 ↑	66 → 76 ↑	66 → 73 ↑		74 → 77 ↑	75 → 69 ↓	75 → 68 ↓		73 → 89 ↑	73 → 70 ↓	79 → 79 =	→ 67 =	83 → 73 ↓	→ 82 =	59 → 94 ↑
問2	58 → 75 ↑	46 → 58 ↑	60 → 61 ↑	52 → 67 ↑		53 → 45 ↓	52 → 54 ↑	65 → 60 ↓		58 → 77 ↑	64 → 58 ↓	81 → 75 ↓	→ 46 =	67 → 50 ↓	→ 73 =	49 → 89 ↑
問3	60 → 74 ↑	52 → 60 ↑	60 → 56 ↑	57 → 64 ↓		57 → 43 ↓	63 → 62 ↓	64 → 65 ↑		60 → 73 ↑	63 → 56 ↓	76 → 68 ↓	→ 48 =	67 → 51 ↓	→ 51 =	49 → 91 ↑
教員について																
問4	76 → 81 ↑	72 → 66 ↓	67 → 73 ↑	71 → 75 ↑		75 → 85 ↑	72 → 54 ↓	77 → 71 ↓		81 → 91 ↑	75 → 70 ↓	82 → 76 ↓	→ 66 =	75 → 80 ↑	→ 83 =	68 → 86 ↑
問5	70 → 85 ↑	65 → 63 ↓	63 → 72 ↑	69 → 70 ↑		63 → 60 ↓	70 → 63 ↓	74 → 72 ↓		74 → 83 ↑	67 → 60 ↓	70 → 78 ↑	→ 64 =	81 → 65 ↓	→ 78 =	60 → 83 ↑
自らの履修態度について																
問6	57 → 75 ↑	50 → 60 ↑	61 → 61 =	59 → 54 ↓		57 → 62 ↑	56 → 55 ↓	43 → 37 ↓		60 → 68 ↑	57 → 61 ↑	55 → 67 ↑	→ 45 =	62 → 45 ↓	→ 52 =	50 → 67 ↑
問7	35 → 67 ↑	34 → 66 ↑	63 → 64 ↑	47 → 57 ↑		43 → 71 ↑	49 → 59 ↑	33 → 33 =		59 → 64 ↑	41 → 51 ↑	37 → 60 ↑	→ 51 =	56 → 43 ↓	→ 65 =	40 → 62 ↑
問8	57 → 79 ↑	45 → 59 ↑	52 → 56 ↑	54 → 60 ↑		50 → 54 ↑	60 → 54 ↓	52 → 62 ↑		60 → 71 ↑	59 → 54 ↓	73 → 68 ↓	→ 45 =	64 → 54 ↓	→ 71 =	50 → 89 ↑
自習について																
問9	10 → 14 ↑	7 → 4 ↓	6 → 10 ↑	4 → 14 ↑		14 → 2 ↓	16 → 18 ↑	5 → 37 ↑		22 → 10 ↓	10 → 13 ↑	7 → 12 ↑	→ 17 =	22 → 22 =	→ 11 =	12 → 15 ↑

(平成28年度後期アンケート結果と比較)

□自由意見のまとめ

分類	分類の具体的内容	
	興味深かった・役に立った点	改善してほしい点
授業の進め方・話し方	●覚えなければいけないところをしっかりと言ってくれるところ ●毎回ある小テストが回答も解説してくれて勉強しやすいと思いました。 ●黒板見る時間と板書する時間を分けてくれるのがとてもよかったです。	●重要な点、覚えておいた方がいい点等をもっと強調して欲しいです。 ●シラバスに小テストも反映すると書いているので前にやった小テストもちゃんと反映してほしいです。
板書について	●黒板見る時間と板書する時間を分けてくれるのがとてもよかったです。 ●教科書が物語形式で面白い	●先生が間違った板書が多くてわかりにくかった。 ●板書を多くすると居眠りや私語が減ると思う
授業時間数・スピード	●進め方がゆっくりで丁寧なのでわかりやすい	●ややこしい所は2回、3回説明してほしい ●進むスピードが速すぎて、しっかり理解出来ずに次々進まれると困る ●前回の授業から全然進んでいる感じがしない。毎回同じ話をしているので参加意欲がなくなる。
副教材について	●毎回スライドをUSBに入れてもらえるのはありがたいです。 ●プリントに見やすく、分かりやすいようにまとめている点	●プリントのサイズが大きすぎて整理に困る。 ●プリントを配布するか教科書に沿って進むかのどちらかで授業をしてほしい。 ●模型を前で見せるだけでなく、手元でもみれるようにしたらさらにわかりやすいと思う。
授業の環境について	●寝ないための対策がしっかりとされているし、寝るのが勿体ないくらい分かりやすい授業だと思ふ。毎回の復習が大切だと感じさせられる。	●授業中うるさい人がいるとちょっと注意してほしい ●座っている席の関係上、先生の体でスライドが隠れてしまうため、「ココとココ」と指をさされても見えない。その為、どこが重要なのかいつも分からない。 ●この時期にあると実習がかぶり、人数が減る。みんなであけたかったです
教科書について	●教科書の文章を読むだけで人の命について考えられる ●教科書に書いてない事をたくさん教えていただきました	●教科書の範囲も同時に見ていきたいので、参考ページも授業内に話してほしいです。 ●教科書をもっと活用してほしい。
講師について	●生徒の為に注意や指摘してくれるのでうれしい。 ●先生自身が楽しそうに授業をしているのでこちら側も興味を持てる。 ●一人一人の名前を呼んでくれるところです。 ●先生の経験談が楽しい・興味が湧きます	●最後バタバタするならもっと早く来て欲しいです。 ●先生が授業に遅刻する時が多く、そのため授業が長引く時がおおく見受けられた ●トイレ等に行く際に、問いただされるのはプライバシー的に疑問を抱いた。生理等の場合もあるので全然帰ってこない場合を除いて聞かないべきだと思う。
授業の理解度	●とてもわかりやすい授業です。先生が生徒にわかりやすく伝えようとしているのが伝わります。 ●先生の授業がこの大学で最も理解しやすいです。医療者として、大学教授として、学生の求めていることを実現してくれている。 ●とてもわかりやすくして国試の過去問を解きながらすることでより理解が深まった	●授業目的が伝わらずわかりにくい。重要なポイントが明確でない。どこを勉強すべきなのかわからないので、教科書に沿って行ってほしい。

平成 29 年度前期 リフレクション・ペーパーの内容について

平成 29 年度前期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。すべてのリフレクション・ペーパーの開示は個人情報等の問題もありますので、以下に回答を抜粋しました。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 質問がほとんどないので、学生の態度や雰囲気から分かりづらく感じている点を察知する必要がある。ノートへの記載がスムーズではない、隣の人に質問をしている、回りをきよろきよろ確認しているなどの行動を見た時に、学生の傍に行き疑問点に答えるようにした。
- 授業の最後に暗記させた内容を質問し、答えさせた。さらに、1週間後の授業開始時に復習として再度質問をした。
- 教室を回りながら説明し、ランダムで当てて質問する。
- 基本的に「復習型」の学習を想定して進行した。そのため、講義の進行を直感的に捉え易くなるように、キーワードを主体としたプリントを配布した。また、復習時に教科書での学習が容易となるよう、プリントのキーワードに教科書のページ数を付記した。
- 講義の終盤では症例情報を提示して、運動学的知識を使って、症例の問題点を考えることを取り入れた。これにより、現在習っている知識が臨床でどう生きるのか、また今習っていることからのアドバンスな内容を教科書から読み取れるような学習方法を提示した。
- 毎回、事例を準備し、学生たちがイメージしやすい事例を紹介した後で、学生たちに5分間程度、座席の前後左右で話し合わせ、その後、数人に発表させた。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 後半になって、自分の選んだテーマに関する調査報告において、情報収集・情報集約・報告書記載の内容があきらかに改善しており、本授業における反復指導は成功していると感じた。
- 重要な点を理解し、暗記内容を忘れにくくなった。|学びを楽しんでいるような表情を見ることが出来た。
- 1週間あたりの学習時間が昨年度よりも増えた。1時間以下：88.2%→64%、2～3時間程度 9.8%→22.0%、4時間以上：2.0%→14.0%
- 実技や臨床など次のステップにつなげてくれる学生が出てきた事
- 授業中に寝てしまう学生がほとんどいなかった点。
- 症例情報から考えるときは、学生の反応や解答がレベル高いものも多く、理解を促せていたと感じたし、アンケート結果も良好であった。
- ゲストスピーカーに専門性の高い看護援助については依頼したが、アンケートの結果好評を得たので来年度も依頼したい。
- 学生からの意見でもあるように、グループディスカッションで他人の意見を聞き、自分の意見を深めることができたというのは大きな成果であると考えている。
- 覚えなければならないところを明示する点をポジティブに評価する意見があった

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 配布資料が分厚いと学習しようという意志が低下する。重要な箇所を纏め、配布資料の枚数を減らしている。その分ラインを引くところが増える。
- グループごとのプレゼンテーションは、特定の学生に負担が偏っていたかもしれない。ワークの仕方をもう一度吟味しようと考えている。
- 学生への距離感の示し方・学習規律徹底のために、授業に無関係な発言に関して指導する必要がある
- 学生との双方向でのコミュニケーションが毎回の授業で成立するようなしかけを考える必要を感じた。
- 教員の意見として板書での「図」の導入をご指摘頂いた。自分自身でも「図」を板所で取り入れることは必要と感じており、講義手法（時間配分や用いる図）を検討して、板書に「図」を取り入れた講義を実践していく。
- 簡単な復習の小テストをやっても、点数に大きく差があった。
- 去年の反省も踏まえ、Discussion の場を増やしたが、もっといれて欲しいとの声も複数挙がっていたため、さらに増やしても良いのかもしれない。しかし Discussion の場を増やせば授業進行が犠牲になるため、判断が難しくはある。
- 同じ学生の欠席が目立つ。計算して休んでいるように思われるため、休まないようにするための改善策を考える。
- 講義に関しては、パワーポイントを使用する、私の一辺倒な話し方が眠気を促してしまっていたようである。教科書がなく、パワーポイントの資料を配布したので、講義中、ノートやメモをとる機会も少なかったのではないかと思います。|媒体の使用法、私の話し方は改善を要する。
- 限られた授業コマ数のなかで国試対策も含めて授業構成を立てているが、授業で伝えたい情報量が多く、授業のスピードを上げざるおえない。しかし検討が必要である。

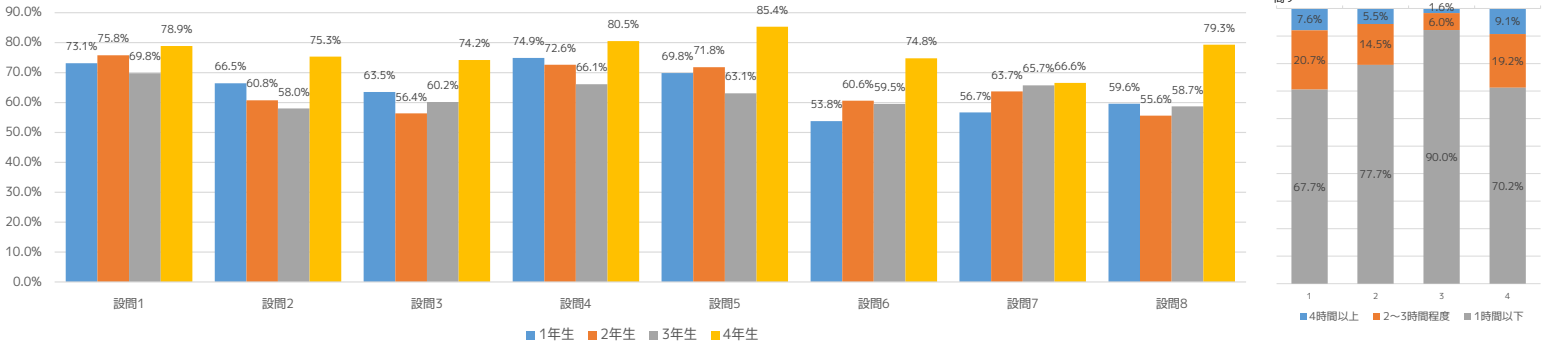
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

- 授業方法に「学びの足跡」が残るような「書く」活動を定期的に行うよう改善する
- 授業中の緊張感は今後も大事にしていきたい。分からないことをそのままにするのではなく、調べようとするなどの学習態度は、臨床に出たときの土台になることと思って、厳しく言っています。ある程度の緊張感を持ちつつ、過度に緊張しないような授業を心がけたい。
- 設問7の点数が低いことから分かるように、居眠りをしている学生が多い。また、教職員の評価の設問6の「学生の授業への熱意が感じられない」もかなり低く。バイトなど生活に関する学生側の問題もあると思うが、教員の授業運営に問題があると感じる。より良い授業にするために改善してほしい点を見ると、資料作成に関して改善する余地があるようなので、学生が興味を持って授業を受けることができるようにまず、資料を改善したい。
- 主担当教員の意図が学生に十分伝わっていないこともあり、時間外の技術指導など学生と関わる機会を利用し、学生の意見を聞いたり、主担当教員の意図を伝えていきたい。
- 反映可能なところは反映します。しかし講義の特性上、医学学習への意欲の低い学生にとっては内容量が膨大でハードルの高い講義であることはおそらく変えようがありません。学科単位で入試段階・入学後などの各段階でモチベーションを高める工夫をお願いできると助かります。

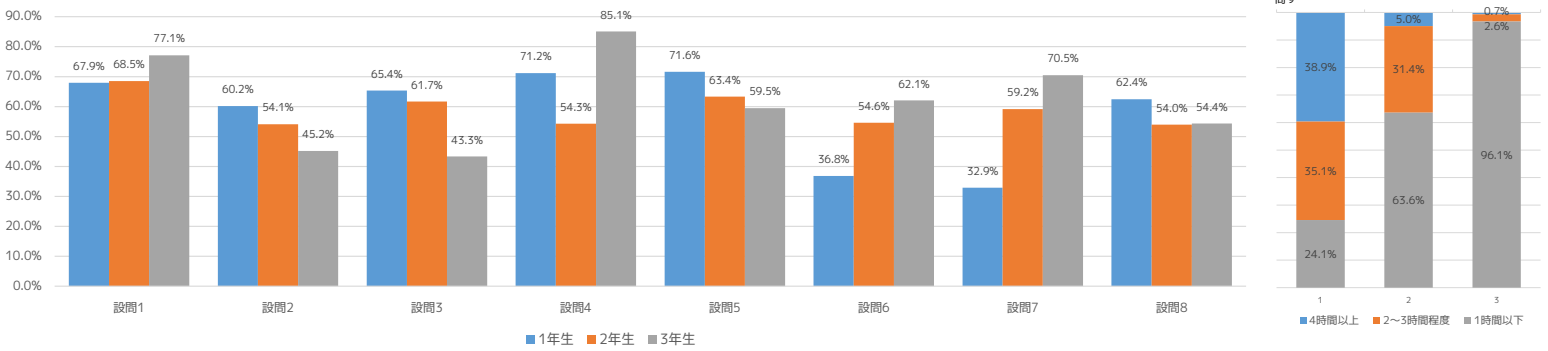
平成29年度前期 授業アンケート調査結果 (肯定意見 学科別内訳)

問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。
 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

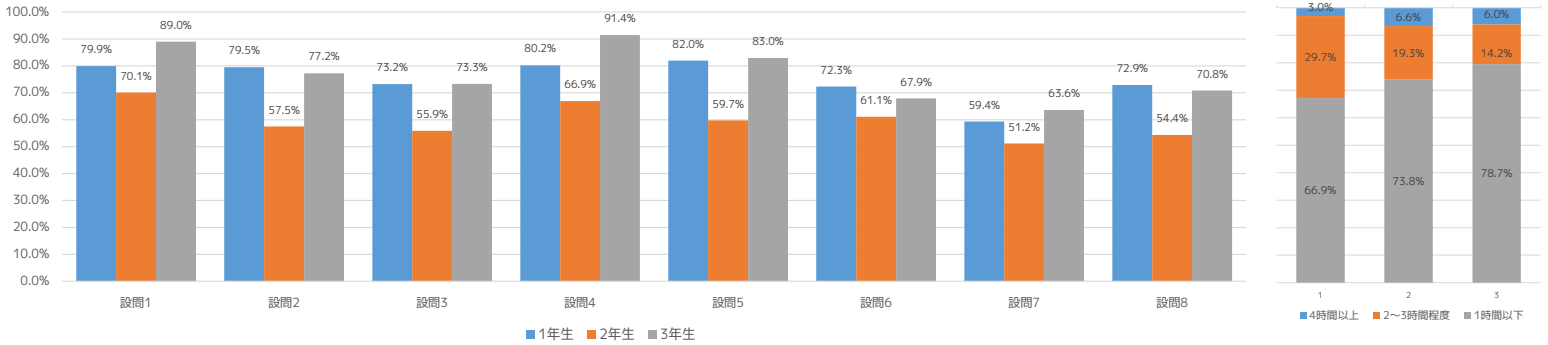
■鍼灸学科



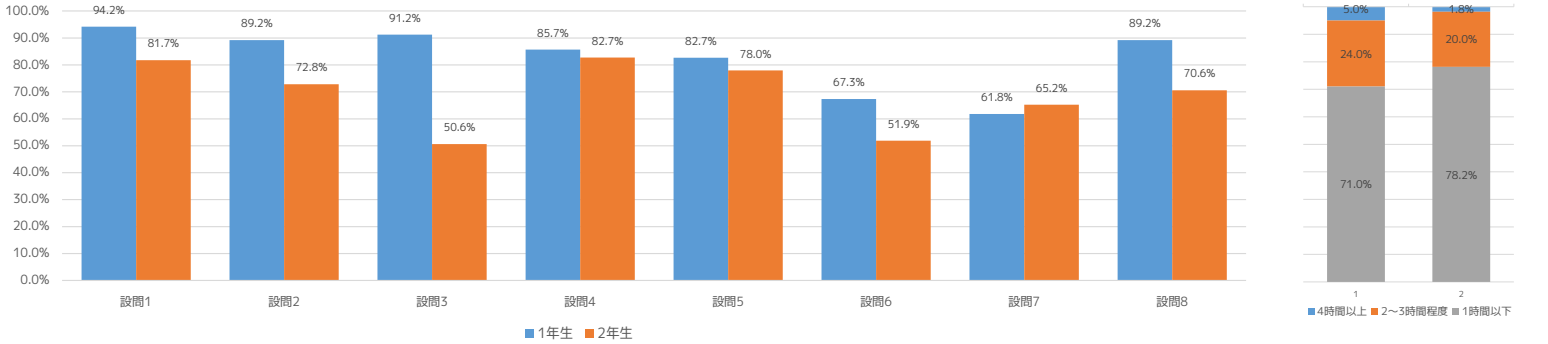
■理学療法学科



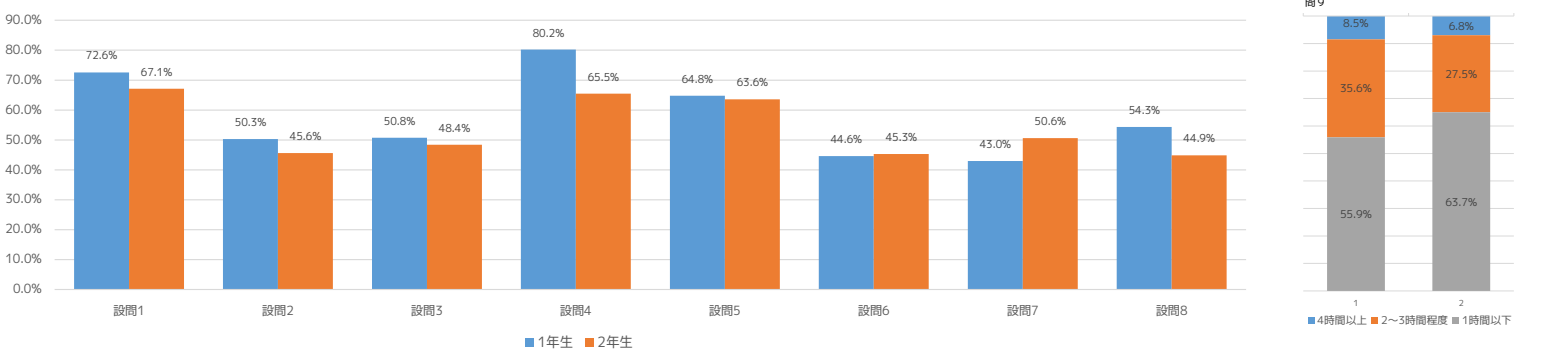
■看護学科



■作業療法学科



■臨床検査学科



平成29年度後期 授業評価アンケート調査結果

■実施科目

学部 教養 共通 科目	鍼灸学科	2年	英会話Ⅱ、健康管理学Ⅱ、漢方医学概論
	理学療法学科	2年	漢方医学概論
	看護学科	1年	チーム医療とコミュニケーション、栄養学
		2年	英会話Ⅱ、漢方医学概論
	臨床検査学科	1年	生命倫理学、哲学・宗教学、統計学
2年		栄養学、漢方医学概論	
作業療法学科	1年	哲学・宗教学、社会福祉学	
	2年	漢方医学概論	
専門 専門 基礎 科目	鍼灸学科	1年	生理学Ⅱ(植物生理学)、東洋医学概論Ⅱ、基礎鍼灸Ⅱ
		2年	スポーツバイオメカニクス、人体形態機能学演習、病理学演習、東洋医学各論Ⅱ、現代医学系鍼灸学実習Ⅱ
		3年	臨床医学各論Ⅱ(各科)、現代医学系鍼灸学実習Ⅱ、応用鍼灸治療学Ⅴ(内科)、ケアマネジメント、学校保健(学校安全・救急処置)、
	理学療法学科	2年	臨床心理学、基礎運動療法学各論、テーピング技術論、臨床理学療法評価学Ⅱ、義肢装具学
		3年	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学
	看護学科	1年	形態機能学Ⅳ、生活援助論Ⅱ
		2年	臨床病態学Ⅴ、健康教育論
	臨床検査学科	1年	分析化学、微生物検査学Ⅰ
		2年	輸血・移植検査学、画像検査学
	作業療法学科	1年	基礎運動学、公衆衛生学、作業療法概論、作業療法評価学総論、日常生活活動学
		2年	整形外科学、臨床心理学、精神障害作業療法評価学
	鍼灸学科	2年	教育心理学、生徒指導論
3年		保健体育科教育法Ⅲ	
看護学科	1年	養護概説、教育心理学	

■実施目的

本アンケートの実施目的は、学生に授業評価をしてもらうことで、本学の教育の質を維持・向上させることにあります。また、アンケートの質問内容からも分かるように、授業評価を通して学生自身の自己覚知を促し、授業・学習に対する意識向上を図ることも重要な目標の一つとしています。

■質問項目

□授業の運営について

- 問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。

□教員について

- 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。
 問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。

□自らの履修態度について

- 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。

□自習について

- 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

■回答方法

上記の項目に対して、学生には以下の選択肢の中から一つだけ選んでもらいました。
 「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」

■データの主な傾向

ここで公表しているデータは個々の授業のものではなく、あくまで全対象科目の全回答を集計したものです。従って、全体の結果と各授業の実態が異なる場合があります。学校全体での傾向を把握するものであることをご理解ください。また、下表の数値は全体結果のうち肯定意見についての割合を表しています。(太字部分が集計対象)。

①問1~8 「**そう思う**」「**そう思わない**」「どちらかといえば**そう思う**」

②問9 「1時間以下」「**2~3時間**」「**4時間以上**」

※今回、鍼灸学科4年、理学療法学科1・4年、看護学科4年は対象授業がありませんでした。※理学療法学科3年生は対象科目が1科目、看護学科3年生は回答期限が3月上旬の科目終了後だったため、集計外としています。

	鍼灸学科				理学療法学科				看護学科				臨床検査学科		作業療法学科	
	4年生	3年生	2年生	1年生	4年生	3年生	2年生	1年生	4年生	3年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生
授業運営についての評価																
問1	毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。	79 → -	70 → 81	76 → 66	73 → 79	77 → -	69 → 77	68 → -	89 → -	70 → 88	79 → 64	67 → 65	73 → 79	82 → 72	94 → 73	
問2	授業内容はよくわかった。	75 → -	58 → 65	61 → 54	67 → 65	45 → -	54 → 61	60 → -	77 → -	58 → 76	75 → 61	46 → 44	50 → 56	73 → 54	89 → 57	
問3	教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。	74 → -	60 → 69	56 → 57	64 → 71	43 → -	62 → 67	65 → -	73 → -	56 → 78	68 → 55	48 → 52	51 → 59	51 → 54	91 → 64	
教員について																
問4	この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。	81 → -	66 → 81	73 → 65	75 → 79	85 → -	54 → 82	71 → -	91 → -	70 → 90	76 → 72	66 → 73	80 → 74	83 → 78	86 → 77	
問5	皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。	85 → -	63 → 73	72 → 61	70 → 81	60 → -	63 → 78	72 → -	83 → -	60 → 92	78 → 66	64 → 62	65 → 72	78 → 69	83 → 75	
自らの履修態度について																
問6	熱意をもってこの授業に臨んだ。	75 → -	60 → 54	61 → 52	54 → 63	62 → -	55 → 73	37 → -	68 → -	61 → 73	67 → 55	45 → 53	45 → 57	52 → 53	67 → 60	
問7	この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。	67 → -	66 → 74	64 → 52	57 → 53	71 → -	59 → 79	33 → -	64 → -	51 → 57	60 → 48	51 → 52	43 → 56	65 → 57	62 → 64	
問8	総合的にこの授業に満足している。	79 → -	59 → 69	56 → 51	60 → 63	54 → -	54 → 64	62 → -	71 → -	54 → 72	68 → 54	45 → 41	54 → 57	71 → 48	89 → 58	
自習について																
問9	実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間	14 → -	4 → 14	10 → 9	14 → 48	2 → -	18 → 35	37 → -	10 → -	13 → 14	12 → 31	17 → 25	22 → 20	11 → 30	15 → 25	

(平成29年度前期アンケート結果と比較)

□自由意見のまとめ

分類	分類の具体的内容	
	興味深かった・役に立った点	改善してほしい点
授業の進め方・話し方	●毎授業、前回までのおさらいから始めてもらえるので、記憶の整理ができて定着しやすいです。 ●実際にデモンストレーションを行ってくださることで、気をつける部分などがわかりやすかった。	●1人ずつ当てていって、答えられなければ、成績が下がるというのはおかしい ●ひたすら先生が話すだけをやめて欲しい ●喋り方がモゴモゴして頭に入りにくい
板書について	●図を描いてわかりやすく説明していた点	●板書がめちゃくちゃ、どこが重要なかわからない。 ●ホワイトボードに書く際、あちこちに単語だけ書くのではなく、書く場所を揃える或いは、順番に書いていただきたい ●1枚のスライドに情報量が多すぎて大事なところなどがよくわからない
授業時間数・スピード	●途中で休憩があったのが良かったです ●じっくり時間をかけて説明していただけるのがありがたいです。	●時間外(休憩)時間から授業が始まることもしばしばあります ●後半の授業、焦ってるとは思いますがもう少しスピード落として欲しいです。 ●チャイムがなくても続行してしまう所。やはり人でも、パブロフの犬と一緒に音で集中力が切れてしまうので、そこで一旦やめて欲しい。
副教材について	●アクティブラーニングのお陰で、とても理解しやすかった。 ●実際の症例を見て医療従事者になったつもりで診断するのを授業でできるのは良かったです ●配布されるレジュメがとてもわかりやすく整理されているので、しっかり理解でき、ありがたいです。	●教科書を見てひたすら話しているので、レジュメはほとんど役に立たない。 ●先生が言う重要な部分がレジュメになっていない点 ●小テストと授業の内容が一致してません。
授業の環境について	●当事者の方が実際に来ていただきお話を聞けたことにより、実際の方の生活模様など鮮明に知ることが出来、また、自分でも、知らなかった事や興味関心を増やすことが出来たので、実際に来ていただきお話を聞くことは授業もそうですがとてもためになりました。 ●スマホを活用して講義を行っていたので興味深く講義に取り組めた	●プロジェクターの使い方を理解して欲しい ●マイクを使って講義をしてほしい ●マイクのスイッチを入れマイクが拾うところで持ち話をしていただきたい ●うるさい人がいたら注意して欲しい ●講義の時間帯が5限と、かなり遅い時間帯のため、居眠りしてしまう学生が多いこと、自分も眠気と戦わなければならないことがあり、もったいなく思います。もしできればですが、3限~4限に講義をしていただけたら、より集中して講義を受けることができると思います。
教科書について	●難しすぎる教科書だけでなくプリントを使って要点を押さえていただけてるので助かります。 ●教科書と照らし合わせて話してくれる所	●教科書が使われていない ●教科書のどこを読んでいるかわからないのでページ数をはっきりおっしゃって欲しい ●個人的に教科書を汚したくないので教科書に書き込みはしたくないのでプリントが欲しい。
講師について	●体験談を話していただいたり分かりやすかったです。 ●保険制度をしっかり学ぶ大切さを、先生の熱い語りからとても感じる内容です。 ●質問に対してとても真摯に対応して下さいました。 ●提出する用紙に、ひとりひとりにコメントを下さって、とてもマメで良いなと思いました	●先生の声がとても小さいこと。 ●先生の言葉がきつくて、傷ついたことがあるので、言葉を選んで欲しい ●演習の際のデモンストレーションで先生がバタバタして手順など入れ替わってたりするのでそこを改善してほしい。
授業の理解度	●授業全体がとても興味深く、一般的に疑問に思っていることを、解剖、生理学を使って解説してくださったり、いろんな患者さんの例を挙げ、どうしたらいいか?と問題形式でしてくださるので、とても面白く、他の授業で役立っています。 ●色々な手技が見れて将来的に役立つと思う ●グループワークは、皆の意見を聞くことが出来、自分で考えていた事とは違う意見もあったので参考になりました。	●講義の内容を踏まえて問題を解く機会が少ないため、実際の試験ではどのように出題されるのか、どのようなことが問われるのかを把握することが難しく、せっかく理解できているのに、問題が解けないというジレンマをかかえています。宿題でもかまいませんので、問題を解く機会を増やしていただけたらありがたいです。

■公開授業・授業アンケート結果の閲覧

各科目の詳細は、E棟1階事務局で閲覧することができます。

平成 29 年度後期 リフレクション・ペーパーの内容について

平成 29 年度後期 公開授業・学生授業アンケートの集計結果を各担当教員に配布し、アンケート結果と授業についての質問を行いました。(リフレクション・ペーパーとはアンケート集計に対する意見・感想の回答を指します。)

【 質 問 事 項 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点
2. 授業を行ってみて良かったと思う点
3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点
4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

各教員が提出したリフレクション・ペーパーをもとに授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取り組みを始めています。すべてのリフレクション・ペーパーの開示は個人情報等の問題もありますので、以下に回答を抜粋しました。

【 リフレクション・ペーパーより抜粋 】

1. 授業を行うに当たって工夫した点

- 取り組んでもらった練習問題は、単に教員が解答を示すのではなく、皆さんの解答をホワイトボード上に記入してもらうことで共有してもらうことで、仮に間違いがあったとしても、その間違いがどのようにして起こったのか、それを防ぐために注意する点はどこかを示せるように、講義を展開したつもりです。
- デモンストレーションを行うに当たり、手順、ポイント、時間配分、物品配置を担当教員全員で FD した。
- 実際の状況をイメージしてもらえるように教員同士でロールプレイングも実施しました。
- 教科書の図をスキャナで取り込み、PPT にして白板に投影し、その図に書き込みながら説明をする。
- オリジナルのテキストをプリントとして用意し、教科書、国家試験、臨床全てに対応できるように工夫をしている。
- ロールプレイ、グループワーク（模擬講話・模擬カウンセリング・ブレインストーミングなど）のアクティブラーニングを取り入れた講義の実践。
- 学生にまずはデモンストレーションを見せることにより、自分が今何を目的としているのかをしっかりと意識してもらうようにした。臨床に出た時の引き出しを増やすため、2人1組の実践形式で授業を行った。手から手への細やかな実技指導を心掛けた。

2. 授業を行ってみて良かったと思う点

- 例年よりもしっかり受講する学生が多かった気がする。肯定的な意見も多く、国家試験との関連付けを意識したことも有効だったと考える。
- 知識をどのように臨床に活かすのかという観点で、講義に加え、実技を行ったことで理解が深まったのではないと思った。
- 説明に終始せず、自分たちで考え、自分たちで動く時間を挿入したことで、学生の覚醒をできるだけ低下させずに授業進行できたと思う。
- 事前課題を提出させ、事前に学習をさせることで、講義内容の理解がしやすくなったと思う。しっかり、記録も確認することで、フィードバックもできていると思う。グループワークなど積極的に取り入れたことで、学生が主体的に学習に参画できたと思う。
- グループワークでいつまでどこまで話し合うかをスライドで表示したことで、時間を有効に使えた点。また、教員同士でのロールプレイングは学生が興味を持って見てくれ、何となくではあるがイメージしてもらえたこと。
- 授業では、口頭での説明、板書、グループワーク、机上での実技を散りばめた。グループワークに限らず、講義中も教員が教室の前方に位置するのではなく、学生の中に入り込んでいくスタイルで取り組んだ。このことで、学生からの意見聴取がし易くなり、質問も得られ易かったと考える。
- 配布プリントは書き込み式で、ただ漫然と講義を聴くものではなかったことで、学生の集中力は保てたと思う。口頭でプリント内容をできる限りかみ砕いて説明し、学生の専門ともできる限り結び付けながら解説したことで、学生が理解しやすい講義になったようである。

3. 授業を行ってみて改善を要すると思う点

- 資料について穴埋めなどを用いることで、復習を促すことができると考えます。また、動画や画像だけでなく、実際の患者様にゲストスピーカーとしてお越しいただくことも必要だと考えております。
- 複数の教員が講義・演習にかかわっているので、一つの科目として一貫した道筋や統括が必要であると考えます。
- 1コマだけでは時間が足りない範囲を、いかに凝縮するか、いかに授業外学習につなげるかを考えていく必要がある。実技や画像評価を試験に含めるのが理想的である。
- 学生数を考えると画面の良く見える学生とそうでない学生がいるため今後はプレゼンテーション法、またグループワークなど取り入れた学修スタイルを考慮すべきだと思います。
- プリントの内容や量がやや多くなる傾向にあり、テーマを限定してもよいのではと考えている。
- 内容を丁寧に分かりやすく伝えることに時間を費やしたこともあって、どうしても教員が一方向的に話すという場面が多かった。受講者は少人数だったので、質問タイムや、ディスカッションタイムを設けるとよかったかもしれない。

4. 学生の授業アンケートの結果を、今後どのように授業に反映させようとお考えですか

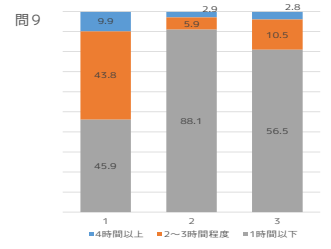
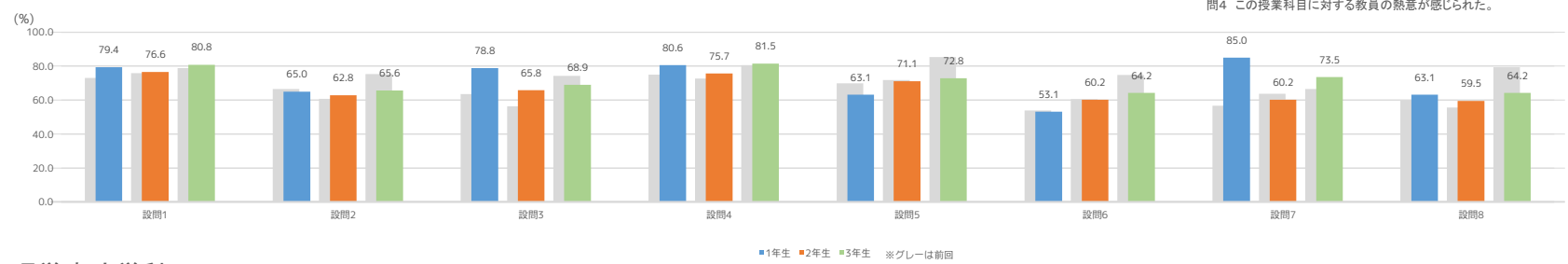
- 問題を解きたいという要望が多く見られますので、講義と演習の比について検討し、演習の時間を増やしつつ、講義の質を落とさずに済むような授業を考えてみることにします。
- 授業内の実践的課題は必要であるが、学生の理解度に合わせる必要もあるため、授業前にそれを見極めながら学生に合わせた内容を検討していきたい。授業内の課題に対する質問対応をより効果的に広く行えるよう、今後も自領域の教員と相談して取り組みたい。
- 講義内容の構成や時間配分、メリハリのつけかたに注意するとともに、自宅学習をさせるために小テストなどもやってみようかと思いました。
- 全体として、学生により熱意をもって講義に臨んでもらうという課題が見えました。講義内容の構成や時間配分、メリハリのつけかたに注意するとともに、自宅学習をさせるために小テストなどもやってみようかと思いました。
- 如何に学生を引き込んでいくかは、教員の努力と考える。ベストな方法は見つかっていないが、授業の進行や形式、講義中の話し方や学生とのやり取り、資料の作り方など、伝える側の努力と工夫が必要なため、検討していこうと考えている。
- 細かく具体的な説明と有益な資料の配布は行ったつもりだったが、伝わっていなかったようなので、授業に興味を引かせるような指導法が必要になると考える。
- 復習を省き、板書を少なくし、書き写す時間を十分にとるということであり、次年度は復習に使っていた時間を、板書を書き写す時間に充ててみたい。また講義で取り扱う内容を減らし、突っ込んだ講義は控え、平易な内容にすることも検討する

平成29年度後期 授業アンケート調査結果(肯定意見 学科別内訳)

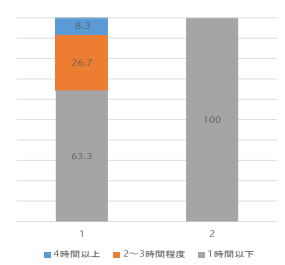
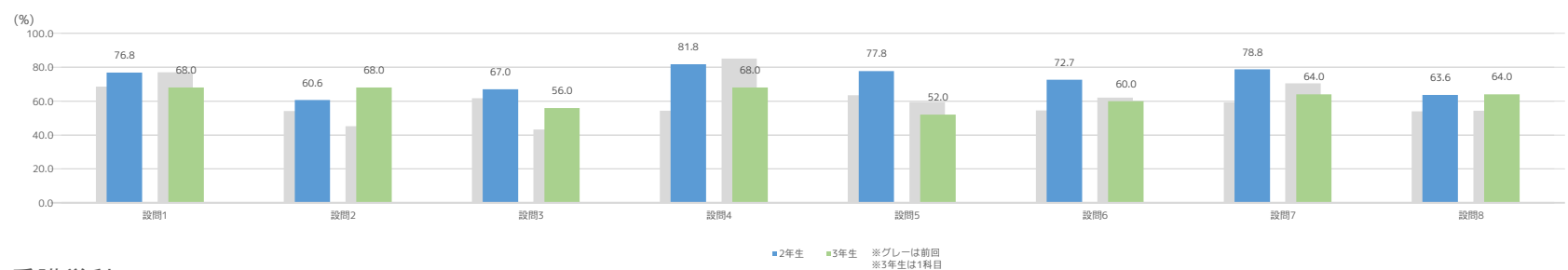
問1 毎回実施する授業内容について教員からの説明があった。
 問2 授業内容はよくわかった。
 問3 教員からのプレゼンテーション(教科書、板書、映像、教材、配布資料等)はわかりやすく、話し方も聞き取りやすかった。
 問4 この授業科目に対する教員の熱意が感じられた。

問5 皆さんへの発言や発問、皆さんからの質問等について教員は適切に対応していた。
 問6 熱意をもってこの授業に臨んだ。
 問7 この授業で遅刻、欠席、居眠り雑談などをしていない。
 問8 総合的にこの授業に満足している。
 問9 実技練習などや、予習復習、レポート等の課題について、この授業で費やした1週間あたりの時間

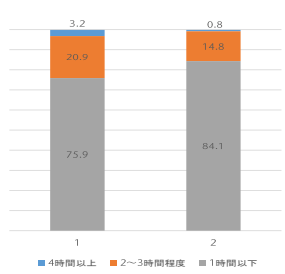
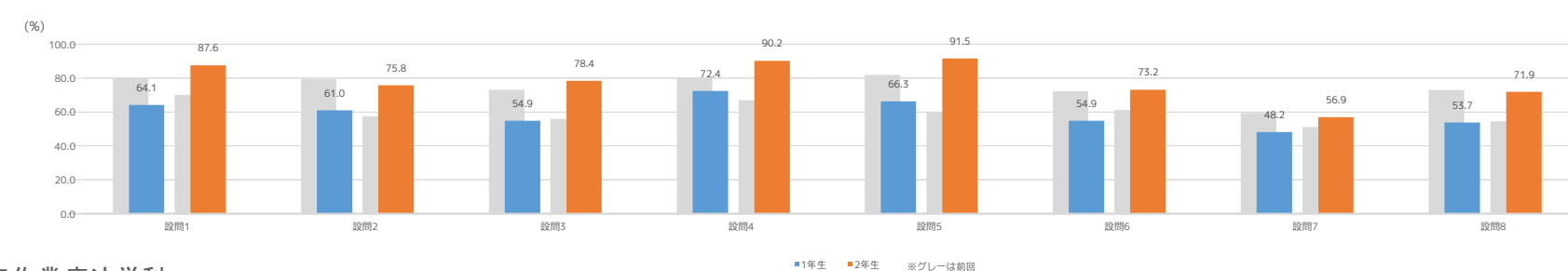
鍼灸学科



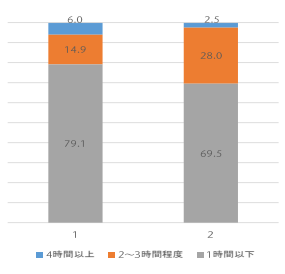
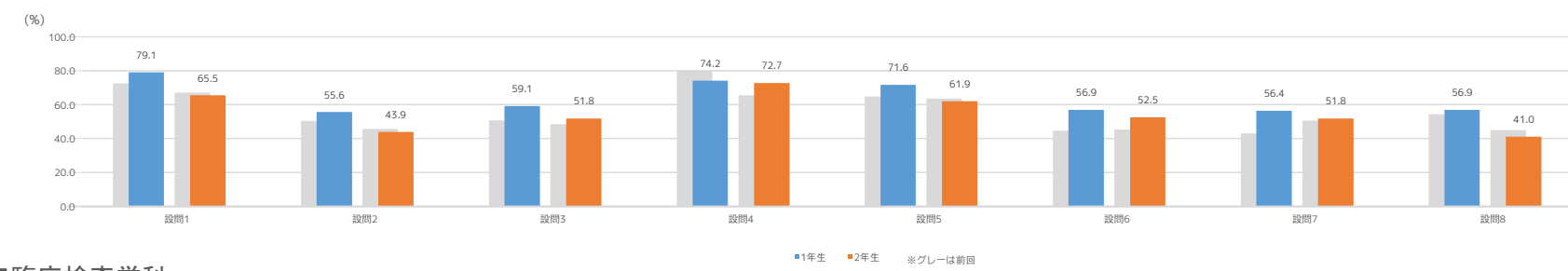
理学療法学科



看護学科



作業療法学科



臨床検査学科

